

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度		開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科			
科目名称	造園ガーデニング実習Ⅱ							授業形態		実習		
科目コード	710099	単位数	2単位		配当学年	2		実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹、岡島 直方、林 典生、木原 正雄、牧田 直子										ICT活 用	○
授業概要	造園系分野に必要な基礎的な知識・技術を習得すると共に、その考え方・視点を習得します。授業は2コマを1単位とし180分の実習となる。 【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】 実際に造園業務に携わり、経営も行っている教員により、実務を踏まえながら造園の計画、施工、管理の技術を学ぶ。											
関連する科目	「造園ガーデニング実習Ⅰ」は必ず履修すること。後継科目は「造園施工実習」、「ガーデニング特別実習」である。											
授業の進め方 と方法	受講者をグループに分け、テーマごとに実施します。昨年度は3グループに分かれて実施した（第2～10回目はグループ毎で受講、実習内容によりグループ内でさらに分かれてローテーションで受講になる。第11・12回目は事前に希望するグループに分かれて実施、第13～15回は事前に希望する実習内容のグループに分かれて3回連続同じグループで実施） 目標としている課題を達成するための身体の動かし方を体験してもらう。 実習内容は天候等の都合で変更する場合がある。 課題の提出及びフィードバックは、ユニバのクラスプロファイル上で行う。											
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 担当教職員の紹介、実習全体の流れの説明後、実習実施場所管理を行う。											
授業計画 【第2回】	庭園視察 学外の庭園視察を行い、庭園管理に必要な視点を習得する。											
授業計画 【第3回】	石工Ⅰ 前期の実習で実施した園路Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを踏まえて、石工に使用する材料や工具・道具の使い方の確認を行う。											
授業計画 【第4回】	石工Ⅱ 石工Ⅰで学習したことを踏まえて、実際に石工の準備・施工を行う。											
授業計画 【第5回】	樹木移植Ⅰ 前期に学習した樹木管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを生かして、樹木移植に必要な根巻・掘り取り等の樹木移植に関する説明を行った後に、根巻・掘り取り等の練習を行う。											
授業計画 【第6回】	樹木移植Ⅱ 樹木移植Ⅰで学んだことを生かして、安全管理を行いながら樹木移植を行う。											
授業計画 【第7回】	植栽管理Ⅰ 草地管理の方法ならびに管理に使用する刈り払い機の取り扱いを説明を受けた後に、学内の芝生等の草地管理を行う。											
授業計画 【第8回】	植栽管理Ⅱ 樹木管理等で使用するチェーンソーならびに高所作業車の使用について説明を行った後に、安全管理を行いながら操作を行う。											
授業計画 【第9回】	植栽管理Ⅲ 樹木移植等に必要な玉掛・小型クレーンの使用について説明を行った後に、安全管理を行いながら操作を行う。											
授業計画 【第10回】	樹木管理 樹木管理の必要性ならびに刈込ばさみや脚立等の道具に関する説明を行った後、生垣等の樹木管理を行う。											

授業計画 【第11回】	学外施工現場視察・体験 学外にある施工現場の視察を行い、現場関係者よりICTを用いた施工の流れに関する説明を受ける。
授業計画 【第12回】	大石組 大型クレーンを用いて、複数の巨石を用いた石組工を行う。
授業計画 【第13回】	リハビリテーションガーデン 前半に高齢者デイサービス利用者を対象にガーデニングワークショップを実施する。 後半に高齢者デイサービスに併設するリハビリテーションガーデンの管理作業を行う。
授業計画 【第14回】	グループ別実習Ⅰ 事前に担当教職員より説明を受け、受講生が希望する内容に分かれて2回連続して実習を行う。 石工特別実習 水勾配に考慮した丁張設置後、床掘を行い石積を行う。 樹木管理特別実習 樹木に関する実習で学んだことを生かして太木の剪定等を行う。
授業計画 【第15回】	グループ別実習Ⅱ 事前に担当教職員より説明を受け、受講生が希望する内容に分かれて2回連続して実習を行う。 石工特別実習 水勾配に考慮した丁張設置後、床掘を行い石積を行う。 樹木管理特別実習 樹木に関する実習で学んだことを生かして太木の剪定等を行う。
授業の到達目標	造園系分野に必要な、知識・技術および考え方・視点を習得することで、様々な現場や分野で活用できる人材を育てることを目指す。 【専門分野のスキル】 【コミュニケーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	実習ノート（ファイル）をUniversalpassportを通じて配布する。 予定している実習内容について事前に調べるとともに、レポート作成に必要な植物材料（場合により道具）を実習1回につき3つずつ丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間30分程度） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
授業時間外学習【復習】	実習ノート（ファイル）をUniversalpassportを通じて配布する。 実習内容を思い出しながら丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間1時間） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
課題に対する フィードバック	実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となる。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘される。
評価方法・基準	毎授業開始・終了時のレポートチェック、最後にチェックしたレポートをまとめて提出し、そのレポートの内容（記載漏れによる減点含む）で評価の上、複数回実施する持ち物チェック・授業態度による減点、発表などによる加点による評価を行う（100点）。 レポート未提出の学生は成績評価対象外になる。各回レポートの提出をため込むと、提出レポートの枚数が増えるか、減点の対象になる。
テキスト	造園ガーデニング実習ノートおよび授業中に配布する資料など
参考書	多数あるので、授業中に紹介する。
備考	実習系の科目を体系的に取得してもらいたいので、初回に実習系科目相互のつながりについて説明を行う。 造園業に携わっている教員が授業を担当する。 持参物・服装等は第1回目のオリエンテーションにて説明を行うので、必ず出席すること。 体調を整えて、作成済みのレポートを持参して実習に参加すること